

令和2年度 天神川水害タイムライン検討会 第2回検討会

議事概要

(日 時) 日時：令和3年2月24日(水) 14:00～

(会 場) 倉吉河川国道事務所 1階会議室 (一部機関 ZOOM 参加)

(議事内容)

- (1) 開会挨拶
- (2) これまでの振り返りと本日の位置づけ
- (3) 天神川水害タイムライン令和2年度修正版について
- (4) 天神川水害タイムライン運用支援システム案について
- (5) 総評
- (6) 今後のスケジュール等について

1. 議事

(1) 開会挨拶

●副所長

今年度の出水期から運用を開始していたが、幸い、天神川流域では、大きな出水はなく、タイムライン立ち上げには至らなかった。

一方で、天神川上流域では土砂災害が発生しており、令和2年7月豪雨では、中国地方においても島根県江の川等で大きな被害が発生した。

今後の天神川における台風や大雨による大規模な水害への備えとして、関係機関が連携したタイムラインは、大変重要である。

本日は、関係機関からの意見を踏まえて作成したタイムライン修正版と運用支援システムについて説明する。引き続きご協力をお願いします。

●座長 (鳥取大学大学院 工学研究科 社会基盤工学専攻 三輪 浩 教授)

昨年度、皆様の協力を得てタイムラインが完成した。完成はしたが、運用する際に、必ず問題点も出てくるものである。

タイムラインはまだ生まれたばかりで、育てていかなければならないので、皆様の知恵や努力を集約して、ひとつずつ確実に進めていきたい。

最終的には、逃げ遅れゼロのために、住んでいる方々が少しでも情報をキャッチして、情報を有効に使えるようなものに、タイムラインを育てていくという責務があると思っているので、皆様の知恵を是非お貸しいただきたい。

(2) これまでの振り返りと本日の位置づけ

◎事務局から「昨年度の検討会の概要や前回の検討会の内容、本日の検討会の位置付け」について、説明した。

(3) 天神川水害タイムライン令和2年度修正版について

◎事務局から「タイムラインの見直し方針に対する意見照会結果と意見照会結果を踏まえたタイムラインの見直し内容」について、説明した。

(4) 天神川水害タイムライン運用支援システム案について

◎事務局から「天神川水害タイムライン運用支援システム案」について、実際のシステム画面を用いて説明した。

(5) 総評

●座長（鳥取大学大学院 工学研究科 社会基盤工学専攻 三輪 浩 教授）

今回は、検証結果と結果を踏まえたタイムラインの修正内容についての説明があった。

タイムラインを少しでも活躍させたいが、いざいう時にどうしようかと考えている時間はないため、日頃から運用支援システムを操作してみたり、タイムラインの内容を少しでも確認していただきたい。

その際に、その時に感じられたこと少しでもよいのでメモをしていただき、そのメモの内容を検討会の場で共有して、集約していくことで、いざいう時に活躍するようになる。各機関がメモをして集約することはとても重要なことなので、是非協力をお願いしたい。

あと数ヶ月で、出水期になるので、その時に役立つようにと願っている。

(6) 今後のスケジュール等について

◎事務局から「昨年度の検討会の概要や前回の検討会の内容、本日の検討会の位置付け」について、説明した。

(7) 関係機関からのご意見・ご質問

●中部総合事務所 地域振興局

カメラは、夜間でも現地状況が確認できるものか。

●事務局（回答）

高感度のカメラもあるため、街灯などのある程度の明かりがあれば割と確認できる。一方で、簡易型河川監視カメラは、夜間の感度があまり高くないため、場所によってはかなり厳しいところもある。

●座長

水位の情報は、10分毎に更新されるため、水位等の情報と併用して現地状況を確認することが大事である。運用支援システムについても、使用者が精通していることが重要であり、どのボタン押したらどういう情報が確認できるのか、普段から使用して慣れていくことが重要である。

●中部総合事務所 県土整備局

関係機関向けのシステムは、事務局から各機関へhtmlファイルを配布するとのことだったが、更新の方法や間隔、あるいは自動的に更新されるのかを教えてほしい。

●事務局（回答）

今回は、出水期前に一度配布する予定であり、この一年は、配布したシステムを運用することになる。URL等の変更があった際には、再度更新版を配布する形となる。

最終的に、サーバ上での運用が実現できた際には、htmlファイル等の配布はなくなり、webサイトにアクセスしていただくことになる。